

保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社
型番: MM-BTMSP1	シリアルナンバー:	
お客様・お名前・ご住所・TEL		
販売店名・住所・TEL		
担当者名		保証期間 6ヶ月 お買い上げ年月日 年 月 日

サンワサプライ株式会社 Ver.1.1

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-11 (イストラルビル) 1F
TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市青葉区榴岡1-6-37 TM仙台ビル
TEL.022-257-4838 FAX.022-257-4833
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7 カジャマビル
TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪府淀川区東淀川4-5-36 セントラル新大阪ビル
TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル
TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CA/AH/HADaNo



最新の情報はWEBサイトで
<https://www.sanwa.co.jp/>

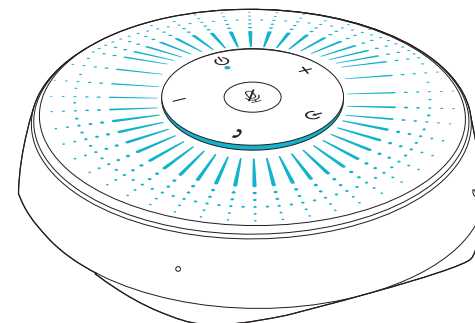
本製品の
最新情報は
こちら



本取扱説明書の内容、デザイン及び
仕様については改良のため予告なし
に変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は
各社の商標又は登録商標です。

Bluetooth 会議スピーカーフォン 取扱説明書

MM-BTMSP1



目次

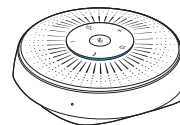
- | | | | |
|----|-------------------------------|----|-------------------------|
| 03 | 1.はじめに | 15 | 11.パソコンの設定 |
| | 2.セット内容 | | ・Windows 10・8.1・8の場合 |
| 04 | 3.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください) | 16 | ・Windows 7の場合 |
| 06 | 4.特長 | 17 | ・Mac OSの場合 |
| | 5.対応機種 | 18 | 12.操作方法 |
| 07 | 6.仕様 | | ・基本操作 |
| 08 | 7.各部の名称とはたらき | 19 | ・通話操作 |
| 10 | 8.充電方法 | 20 | 13.各種操作方法・LED点灯一覧 |
| 11 | 9.電源のON・OFF | 21 | 14.【例】Skypeの設定(Windows) |
| | 10.接続方法 | 22 | 15.トラブルシューティング |
| | ・Bluetoothモードで接続をする場合 | 24 | 保証規定 |
| 13 | ・USBモードで接続をする場合 | | |
| 14 | ・AUXモードで接続をする場合 | | |

1 はじめに

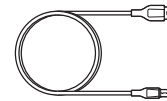
この度は、Bluetooth会議スピーカーフォン「MM-BTMSP1」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

2 セット内容

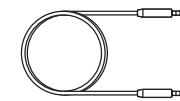
お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



①スピーカーフォン
…1台



②USBケーブル
…1本



③オーディオケーブル
…1本



④取扱説明書・保証書(本書)
…1部

※欠品や破損があった場合は、**品番**(MM-BTMSP1)と**上記の番号**(①～④)と**名称**(USBケーブルなど)をお知らせください。

3 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

警告 人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の内容

<内部を開けないでください>

●内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対にしないでください。また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

<内部に異物を入れないでください>

●内部に燃えやすいものや、金属片などが入った場合、水などの液体がかかった場合は、接続しているケーブルを抜き、お買い上げいただいた販売店又は弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと火災や故障および感電事故の原因になります。

<接続ケーブルを傷つけないでください>

●ケーブルを傷つけたままご使用になりますと火災・感電の原因となります。

<本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください>

<ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください>

<小さいお子様には使用させないでください>

注意 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

●ケーブルやプラグに無理な力を加えないでください。破損や断線の恐れがあります。

●はじめから音量を上げすぎないでください。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力を損なう恐れがあります。

●ご使用になるときは、音量を大きくしすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間連続して聞くと聴力を損なう恐れがあります。

●使用中に本製品を移動させないでください。

●本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

●本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。

●本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外のご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。

●医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。

●飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。

●使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。

■ Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発信を停止してください。

■ 良好な通信を行うために

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能になる場合があります。
- Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声がか途切れることがあります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

4 特長

- Bluetooth・USB・オーディオジャック接続と3種類の接続ができるBluetooth会議スピーカーフォンです。
- 4つのKnowles社製マイク搭載で360°全方向の声を拾うことができ、高品質な音声通話が行えます。
- Bluetoothでスマートフォンやタブレットにも接続可能で、WEB会議などにも使用できます。
- 小型なので持ち運びにも便利で、省スペースに設置できます。
- SkypeやZOOMなどの音声通話でも使用可能です。

5 対応機種

■ Bluetooth接続時

- Bluetooth 5.0以下のBluetoothデバイス(スマートフォン・iPad・iPhone・パソコンなど)

■ USB接続時

- 対応機種/Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ
- ※標準でUSBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

- 対応OS/Windows 10・8.1・8・7、macOS 10.12~10.15、Mac OS X 10.6~10.11

■ AUX接続時

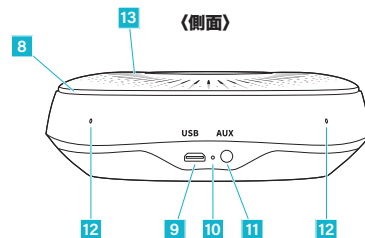
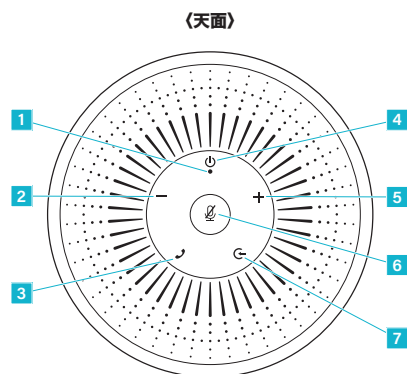
- 3.5mmステレオミニジャックを搭載した音響機器、パソコンなど

6 仕様

適合規格	Bluetooth5.0(Class2)
周波数範囲	2.402~2.480GHz
通信距離	約10m(理論値)
伝送方式	GFSK
対応コーデック	SBC
対応プロファイル	A2DP・AVRCP・HSP・HFP
電源	内蔵型リチウムポリマーバッテリー
充電時間	約2.5時間
連続再生時間	最大約12時間
連続通話時間	最大約8時間
連続待受時間	最大約120時間
マルチポイント	対応
マイク感度	-26dBFS
マイク指向性	全指向性
マイク周波数	100Hz~8000Hz
マイク集音範囲	約5m/360°
サイズ・重量	約W130×D130×H41mm・約285g

7 各部の名称とはたらき

①スピーカーフォン



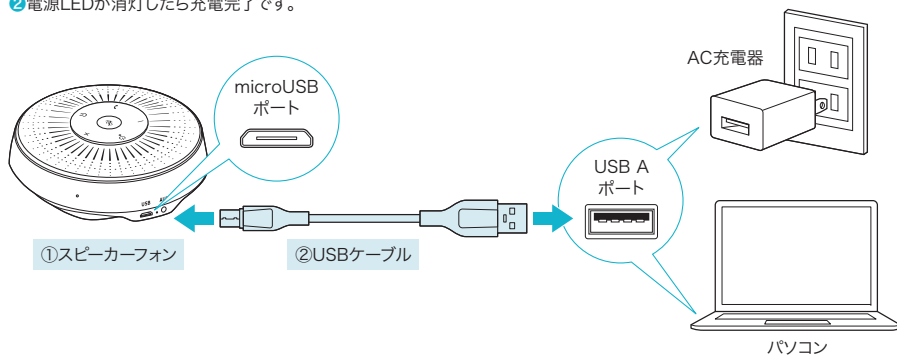
名称	機能
1 電源LED	機器の状態に合わせて点灯します。
2 音量ダウンボタン	音量を下げます。
3 受話器ボタン	着信に出たり、通話を切ったりできます。
4 電源ボタン	電源のON・OFFを行います。
5 音量アップボタン	音量を上げます。
6 ミュートボタン	マイクを一時的に停止し、こちら側の音声を相手に聞こえなくします。
7 入力切替・ペアリングボタン	1回タッチでモードを切替えます。長押しでペアリングモードになります。
8 外周LED	機器の状態に合わせて点灯します。
9 microUSBポート	スピーカーフォンを充電する際やUSB接続に付属のUSBケーブルを接続します。
10 リセットボタン	製品を初期化します。ピンなどの細い突起物で押ししてください。
11 AUX(3.5mm)ポート	AUX接続する際に付属のオーディオケーブルを接続します。
12 マイク	音声を入力します。
13 スピーカー	音声を出力します。

※ボタンはタッチ操作です。

8 充電方法

- はじめてご使用になるときは、スピーカーフォンの電源LEDがオレンジ色にゆっくり点滅から消灯するまで充電してください。
- 必ず付属のUSBケーブルで充電してください。

- 1 付属のUSBケーブルでスピーカーフォンとパソコンやAC充電器に接続します。
充電中は電源LEDがオレンジ色にゆっくり点滅します。
- 2 電源LEDが消灯したら充電完了です。



9 電源のON・OFF

■ 電源をONにする

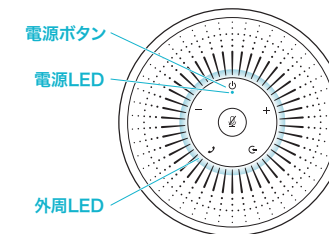
電源がOFFの状態ですべての電源ボタンを約2秒間長押しします。ピープ音が鳴り、電源LEDが点滅し(※1)、外周LEDが時計まわりに青+紫色点灯後、消灯します。

※1:何も接続していない時、Bluetooth接続時→青色点滅、

USB接続時→緑色点滅、AUX接続時→紫色点滅

■ 電源をOFFにする

電源がONの状態ですべての電源ボタンを約2秒間長押しします。ピープ音が鳴り、電源LEDが消灯し、外周LEDが反時計まわりに青+紫色点灯後、消灯します。



10 接続方法

■ Bluetoothモードで接続をする場合

※接続方法により、基本音量が変わる場合があります。

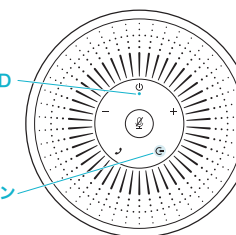
本製品をお手持ちのスマートフォンなどBluetooth機器で使用するためには、お手持ちの機器とペアリングを行う必要があります。

(例)スマートフォンとの接続方法

※詳しくは接続機器の説明書をご覧ください。

- 1 本製品の電源ONの状態ですべての電源ボタンを約2秒間長押しして電源LEDが青色に早く点滅するまで長押しします。

入力切替・
ペアリングボタン



10 接続方法(続き)

② スマートフォンのBluetoothを「ON」にして「MM-BTMSP1」を選択します。

iOSの場合

(1) [設定] → [Bluetooth] を選択します。



(2) 「Bluetooth」をONにし、「MM-BTMSP1」を選択します。

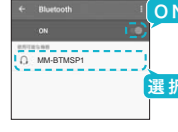


Androidの場合

(1) [設定] → [Bluetooth] を選択します。



(2) 「Bluetooth」をONにし、「MM-BTMSP1」を選択します。



※パスキーを要求された場合は下記を入力してください。

デバイス名	MM-BTMSP1
パスキー	0000(ゼロ4つ)

※操作画面は参考です。ご使用のスマートフォンのOS、機種により画面は異なります。

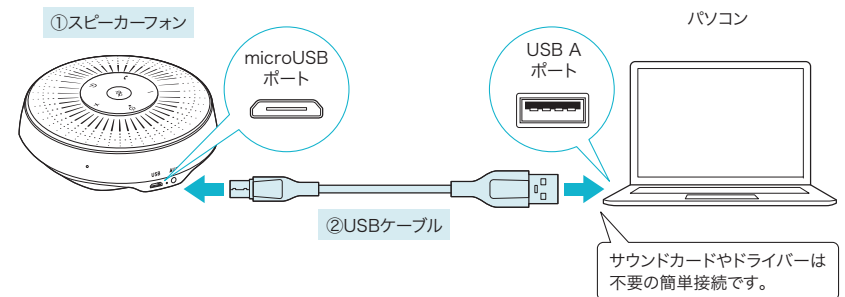
❗ 本製品をペアリングモード後、ペアリングをしない状態がしばらく続くとピープ音が鳴ってペアリングモードが終了します。その場合、❶から作業をやり直してください。

③ 電源LEDが青色に点灯し、本製品とスマートフォンとの接続が完了します。

■ USBモードで接続をする場合

※接続方法により、基本音量が変わる場合があります。

- ① パソコンの電源を入れ、OSを完全に起動させます。
- ② スピーカーフォンとパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。
- ③ 自動的にドライバーがインストールされ、電源LEDが緑色に点灯し本製品を使用できます。



❗ USB接続をした場合は「11.パソコンの設定」で設定を行ってください。

10 接続方法(続き)

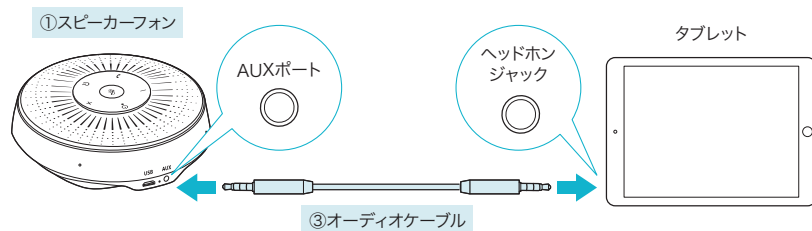
AUXモードで接続をする場合

※接続方法により、基本音量が変わる場合があります。

Bluetooth接続による音声の途切れが不安な場合や接続機器側のUSBポートに空きがない場合、付属のオーディオケーブルを使用して機器と接続することができます。

(例)タブレットとの接続方法 ※詳しくは接続機器の説明書をご覧ください。

- 1 タブレットの電源を入れ、OSを完全に起動させます。
- 2 スピーカーフォンとタブレットを付属のオーディオケーブルで接続します。
- 3 自動的にドライバーがインストールされ、電源LEDが紫色に点灯し本製品を使用できます。



11 パソコンの設定

USB接続をした際は下記の通りパソコンの設定を行ってください。


- アプリケーションを作動中にコネクタを差し替えたり、設定を変えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再起動してください。
- 使用するアプリケーションによっては、アプリケーション側で「オーディオデバイスの設定」をする必要があります。

Windows 10・8.1・8の場合

※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

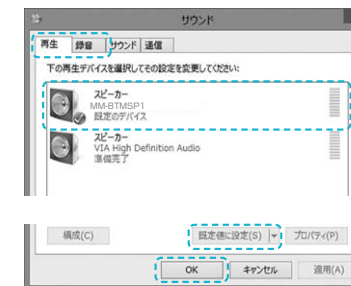
- 1 カーソルを画面の左下隅に動かして右クリックし、メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。または、「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windowsシステムツール」を選択し、「コントロールパネル」の中の「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
- 2 「サウンド」をクリックします。
- 3 [再生]と[録音]タブの中のリストからそれぞれ「MM-BTMSP1」を選択し、[既定値に設定(S)]をクリックします。

選択したサウンドデバイスに  が付きます。

※既に  が付いている場合もあります。

※この時、右下の[プロパティ]をクリックし、それぞれの[レベル]タブを開いて、レベルが0になってないかも確認してください。

- 4 「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了します。



11 パソコンの設定(続き)

■ Windows 7の場合

※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

- 1 [スタート]ボタンから[コントロールパネル]をクリックします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「サウンド」をクリックします。



- 3 [再生]と[録音]タブの中のリストからそれぞれ「MM-BTMSP1」を選択し、[既定値に設定(S)]をクリックします。

選択したサウンドデバイスに☑が付きます。
 ※既に☑がついている場合もあります。
 ※この時、右下の[プロパティ]をクリックし、それぞれの[レベル]タブを開いて、レベルが0になってないかも確認してください。

- 4 「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了します。



■ Mac OSの場合

※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

- 1 アップルメニューから[システム環境設定]をクリックします。



- 2 「サウンド」をクリックします。



- 3 [出力]と[入力]のリストの中から、それぞれ「MM-BTMSP1」を選択します。
 ※この時、それぞれの音量調整と「消音」にチェックが入っていないかも確認してください。

- 4 左上の☑をクリックし、サウンドのプロパティを終了します。



12 操作方法

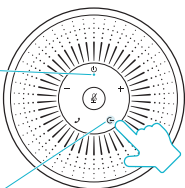
■ 基本操作

モード切替え ※複数のモードが使える状態にしておかないと使えません。

電源LED

- ・Bluetoothモード→青色点灯
- ・USBモード→緑色点灯
- ・AUXモード→紫色点灯

入力切替・ペアリングボタン
1回タッチする



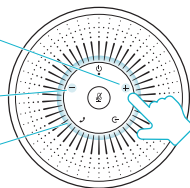
音量調節

音量アップボタン
音量を上げる/
1回タッチする

音量ダウンボタン
音量を下げる/
1回タッチする

外周LED
青色点灯

※音量の大きさによって光る範囲が広がる
※最小・最大音量でピーブ音あり



電池残量確認

外周LED

緑色点灯

- ・残量 100%→全点灯
- ・残量 75%→7割点灯
- ・残量 50%→5割点灯
- ・残量 25%→2割点灯

Siri・Google
アシスタント起動

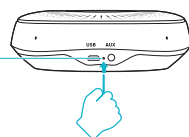
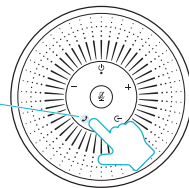
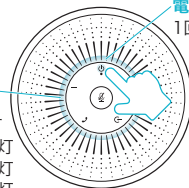
受話器ボタン
2回タッチする

初期設定

リセットボタン
1回押す

※ピンなどの細い
突起物で押します。

電源ボタン
1回タッチする



■ 通話操作

着信に出る/ 通話を切る

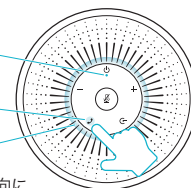
電源LED

通話中/青色点灯

受話器ボタン
1回タッチする

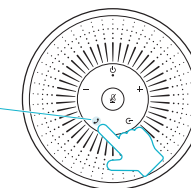
外周LED

通話中/音声のする方向に
緑色点灯



着信拒否

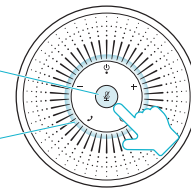
受話器ボタン
着信中に約3秒間
長押しする



マイクミュート

ミュートボタン
通話中に
1回タッチする

外周LED
赤色点灯



13 各種操作方法・LED点灯一覧

	動作・状態	操作方法	電源LED	外周LED
基本操作	電源ON	電源OFFの状態です電源ボタンを約2秒間長押し	点滅(モードにより色は変化)	時計まわりに青色+紫色に光って消灯
	電源OFF	電源ONの状態です電源ボタンを約2秒間長押し	消灯	反時計まわりに青色+紫色に光って消灯
	ペアリングモード	入力切替・ペアリングボタンを電源LEDが青色に早く点滅するまで長押し	青色に早く点滅	-
	ペアリング成功	-	青色点灯	-
	機器未接続	-	約3秒に1回青色点滅	-
	充電中	-	オレンジ色にゆっくり点滅	-
	充電完了	-	消灯	-
	電池残量低下	-	-	赤色点滅
	電池残量確認	電源ボタンを1回タッチする	-	緑色点灯 ※2
	音量調節	音量アップボタン、音量ダウンボタンで調節	-	青色点灯
	Siri・Google起動	受話器ボタンを2回タッチする	-	-
	モードの切替え	入力切替・ペアリングボタンを1回タッチする ※1	点灯(モードにより色は変化)	-
	初期化	リセットボタンを1回押す	-	-
	通話操作	電話に出る	着信中に受話器ボタンを押す	-
電話を切る		通話中に受話器ボタンを押す	-	-
着信拒否		着信中に受話器ボタンを約3秒間長押し	-	-
マイクミュート		通話中にミュートボタンを押す	-	赤色点灯

※着信中は外周LEDが青色に早い点滅をします。 ※メディアの再生時の操作は接続した機器側で行ってください。

※1:複数のモードが使える状態にしておかないと使えません。 ※2:残量により変化(12.操作方法参照)

14 【例】Skypeの設定(Windows)

- Skypeのメイン画面で (その他)をクリックします。
- 「設定」をクリックします。
- 「音声/ビデオ」を開いて「マイク」の右のデバイスリスト(プルダウン)から「MM-BTMSP1」を選択し、「マイク設定を自動調整」をONにしてください。
- 「スピーカー」の右のデバイスリスト(プルダウン)から「MM-BTMSP1」を選択します。

これでSkypeの設定は完了です。



※Skypeのバージョンによっては下記になります

- Skypeのメイン画面で、[ツール]メニューから[設定]をクリックします。
- [オーディオ設定]をクリックします。
- Skypeで使用するマイクとスピーカーを本製品にするために、
 - 「マイク」から「MM-BTMSP1」を選択し、「音量設定の自動調整を有効化」にチェックを入れます。
 - 「スピーカー」から「MM-BTMSP1」を選択します。
- Skypeの呼び出し音(着信音)を設定します。
 - 呼び出し音(着信音)を本製品から鳴らす場合
「呼び出し中」から「MM-BTMSP1」を選択します。
 - 呼び出し音(着信音)をパソコンのスピーカーから鳴らす場合
「呼び出し中」からパソコン本体のスピーカーを選択します。
- [保存]をクリックします。

これでSkypeの設定は完了です。

15 トラブルシューティング

Q) USBハブに接続できますか？

A) 本製品を接続する際にはパソコン本体のUSBポートに直接接続するか、ACアダプタ付きのUSBハブ(セルフパワードハブ)に接続してください。キーボードや液晶モニターのUSBポートでは使用できない場合があります。

Q) 本製品を接続しているのに本製品から音が出ずに「パソコン本体のスピーカー」から音が出る。または、音声入力ができない。

A) パソコンの設定で優先されるスピーカーに「パソコン本体のスピーカー」が設定され、マイクについても別のデバイスが設定されています。「11.パソコンの設定」を参考に本製品を優先するよう設定変更してください。

Q) 本製品を接続したままパソコンのスピーカーで音楽を聴こうとすると本製品から音が出る。

A) 「11.パソコンの設定」を参考にパソコンの設定で優先されるスピーカーを「パソコン本体のスピーカー」に設定してください。または、本製品をパソコンから抜いてください。自動的に切替わります。※アプリケーションを作動中にコネクタを差し替えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再起動してください。

Q) Skype通話の音声は本製品から、音楽はパソコン本体のスピーカーから再生させたい。

A) 「11.パソコンの設定」を参考にパソコンの設定で優先されるスピーカーを「パソコン本体のスピーカー」に設定します。また、Skypeの「ツール」→「設定」→「オーディオ設定」→「スピーカー」を「MM-BTMSP1」に設定します。

Q) Skype通話時に、マイクの音量が小さい。

A) Skypeの「ツール」→「設定」→「オーディオ設定」の「 マイク設定を自動調整」のチェックを外して音量を調整してください。

Q) 環境ノイズが入る。

A) 相手にこちらの環境ノイズが聞こえる場合は、本製品を雑音源(パソコンやプロジェクターの放熱ファン、クーラーの下)から離して設置してください。

その他ご質問、ご不明な点はWEBサイトへ

弊社サポートページ

- サポート情報
- 各種対応表
- ソフトダウンロード
- Q&A(よくある質問) etc.

